

長崎市で見つかった、1982年の第2回国連軍縮特別総会に参加した被団協の代表団が寄せ書きをして作った横断幕
＝11日午後



ノーモア決意の横断幕発見

長崎市 40年前渡米団寄せ書き

1982年の第2回国連軍縮特別総会に合わせて、日本原水爆被害者団体協議会(被団協)の渡米代表団が核廃絶への思いを寄せ書きして作った横断幕が、長崎市で見つかった。総会で「ノーモア・ヒバクシャ」と被爆者初の国連演説を行った故山口仙二さんのメッセージなどが記され、専門家は「40年以上前の運動の姿を伝える大事な証」と評価している。

横断幕は布製で縦約1.5メートル、横約2.5メートル。山口さんの演説と重なるフレーズが英語で大書され、約30人の寄せ書きや、長崎原爆で崩れた浦上天主堂(長崎市)の絵で構成されている。被爆者運動の資料収集を行う長崎総合科学大の木永勝也客員研究員らが昨年、被団協を構成する長崎原爆被災者協議会(長崎被災協)の倉庫で発見した。

山口さんは幕の上部に「平和こそ最大の幸福」と記入。広島で被爆し、被団協の代表委員を務めた故伊東壮さんのメッセージも確認できた。

木永さんは「長崎被災協と相談しながら、要請があれば展示も検討したい」と話している。

【問1】 見つかった横断幕は何年の何に合わせて作った物なのでしょう。

【問2】 山口仙二さんが国連演説を行った主なメッセージをカタカナと記号合わせて、10字で書きましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【問3】 この寄せ書きを専門家は、どのように評価しているでしょう。書き抜きましょう。

【問4】 山口さんは横断幕の上部に何と記入したのでしょうか。9字で抜き出しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

【調べてみよう】 日本原水爆被害者団体協議会(被団協)について調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

原水爆(げん・すい・ぱく) 被害者(ひ・がい・しゃ) 被団協(ひ・だん・きょう)

渡米(と・べい)＝アメリカに行くこと。 核廃絶(かく・はい・ぜつ)＝核兵器をなくすこと。

被爆者(ひ・ばく・しゃ)＝原子爆弾が投下されたとき、またはその後に身体に放射能の影響を受けた人。

証拠(しょう・こ) 崩(くず)れた 浦上天主堂(うら・かみ・てん・しゅ・どう)

要請(よう・せい)＝必要だとして、強く願い求めること。

